Capability Assessment for Digital Security (能力診断)

登録者本人用 操作ガイド

一般財団法人日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会(JTAG)

東京都千代田区平河町 2-16-1 平河町森タワー 株式会社ラック内

Email: info@j-tag.or.jp

内容

更新履歴	2
はじめに	3
ご利用頂くにあたっての推奨環境	4
1. 診断実施	5
1.1 診断の手順	6
1.2 比較対象業務	13
1.3 おすすめの研修コースの自動提示	14
2. 入力内容・診断結果の修正	18
2.1 業務経験・資格情報・講義等受講/イベント等活動の修正	19
2.2 診断結果の修正	20
3. 診断結果の保存	21
3.1 診断結果の保存手順	22
4. 診断履歴の確認	23
4.1 診断履歴の確認手順	24
5. 診断履歴にある結果の編集	25
5.1 診断履歴にある結果の編集手順	26
6. 診断結果のダウンロード	27
6.1 スキルチャートを PDF でダウンロード	28
6.2 総合評価 details を PDF でダウンロード	28
6.3 総合評価 details を CSV でダウンロード	29

更新履歴

2020年12月28日

■初版発行

2021年3月9日更新

■診断結果の PDF ダウンロード方法についての文言追加

2021年9月27日更新

■診断の手順【業務経験入力】にセキュリティへの関連度の入力例および注意事項追加

2022年11月16日更新

- ■スキル評価の新しい評価項目追加(講義/研修受講、イベント参加や日々の学内活動等)
- ■おすすめの研修コースの自動提示についての文言追加

はじめに

このたびは、IT 総合能力診断サービス VisuMe をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本利用ガイドは、<u>Capability Assess for Digital Security(能力診断)</u>の診断実施手順、結果の修正、確認、ダウンロードについてのガイドです。

診断では、各分野における業務経験年数と保有資格、それまで従事してきた役割を入力すると、IT 技術、情報セキュリティ技術、事業・管理・マネージメント・経営領域についてのスコアが自動算出されます。

回答時間:目安10分~(業務経験や保有資格によって異なります)

Competency Assessment については、「<適性資質・行動特性診断>登録者本人用_操作ガイド」をご覧ください。

診断	ガイド
Capability Assess for Digital Security (能力診断)	<capability assess="" digital="" for="" security(能力診断)="">登録者本人用_操作ガイド</capability>
Competency Assessment (適性資質·行動特性診断)	<competency assessment(適性資質・行動特性診断)="">登録者本人用_操作ガイド</competency>

また、VisuMe の各権限の手順については、下記の利用ガイドをご覧ください。

権限	説明	ガイド
ユーザ	一般的なユーザです。診断の実施および自分の結果の閲覧・修正ができます。	<visume>登録者本人用 操</visume>
部門管理者	部門に所属する社員の情報を修正または閲覧することができる管理者です。企業管理者がユーザに権限を付与します。	作ガイド

ご利用頂くにあたっての推奨環境

- ■VisuMe を快適に利用できる推奨環境
- ・ブラウザ: Google Chrome 最新版
- ※スマートフォンや他のブラウザではフォームが崩れたり操作ができない場合があります。

1. 診断実施

1.1 診断の手順

JTAG

【診断開始】

①トップページの右上「診断する」または中央下の「今すぐ診断する」を選択します。





JTAG総合IT能力診断サービス

Capability Assessment for Digital Security (能力診断)

Capability Assessment for Digital Security (能力診斯) はセキュリティの専門家だけ が対象ではなく、「プラス・セキュリティ 人材(※1)」のスキルの見える化も実施い たします。

(※1) 一般企業において、本来の業務を担う際に自 らの仕事において情報セキュリティ関わっている人 材

本アセスメントに、各分野における業務経 験年数と保有資格、それまで従事してきた 役割を入力すると、入力情報に基づいた計 算結果として、IT技術、情報セキュリティ 技術、事業・管理・マネジメント・経営 領域についてのスコアが自動算出されま す。 JTAGでは、業務や職務、役割の代表例としてサンプルプロファイルを152種類設定し、参考となるスキルパランスを指標化しています。 皆さんの出力結果と比較することで、そのサンプルプロファイルに従事するために向上させるベきスキルとその程度(スキルギャップ)を把握することができます。 また、現時点でのご自身のスキルパランス、レベルに対してどのような職務に適性の可能性があるのかビジュアル的に確認することができます。

① 注意事項

本システムは、夜間(3:00-3:30am)に定 期的に再起動を行うため、当該時間はアク セスできない場合があります。尚、再起動 前に入力され、保存されていない情報はク リアされます。

(※) 推奨ブラウザは、Google Chromeです。スマートフォンや他のブラウザではフォームが崩れる場合があります。また、ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

【基本情報入力】

- ②基本情報入力画面に移ります。
- ③「業務経験年数」に、業務を行った通算の年数を半角数字で入力します。
- ④「マネージメント経験年数」に、マネージメントの役割を持った年数を半角数字で入力します。 (経験がない場合は0を入力します。)
- ⑤「海外経験」をドロップダウンから選択します。
- ⑥「次へ」を選択します。

基本情報入力

内容を入力してください





【業務経験入力】 ※これまで経験してきた業務や役割など全てを入力ください。

- ⑦「業務経験」の「選択してください」を選択します。
- ⑧左から「①職務概要の選択」→「②職務領域の選択」の順で選択し、「③経験年数等の入力」に「経験年数」「セキュリティへの関連度」を入力します。
- ※半角数字で入力ください。
- ※「セキュリティへの関連度」の入力例はこちら。 関連度がない場合は「0」を入力ください。
- ⑨入力情報を確認し、「この内容で決定する」を選択します。

業務経験・資格情報・講義等受講/イベント等活動





注意事項!

下記の ②職務領域 を選択された方は、分野として関連するものについて他の職務概要や職務 領域から探して、そこにも同様に追加で選択ください。

①職務概要	②職務領域
IT システム専門職/サイバーセキュリティ専門	MF(メインフレーム)
職	サービス・製品企画技術担当
	プレセールス技術担当
その他専門職(IT/非 IT 含む)	社内(外)教育
	プロジェクトマネージメント
	コンサルティング
	研究
学会・業界団体・学術系の活動	大学/高専/専門学校等客員講師
	業界団体活動
	学会活動
	社会人大学等

(例)「社内(外)教育のIT系」の講師業務で、分野が「マルウェア解析」を2年間教える。

→ 入力内容

①職務概要	②職務領域		経験年数	セキュリティ
				への関連度
その他専門職(IT/	社内(外)教育	IT系	2年	100%
非 IT 含む)				
IT システム専門職/	サイバー攻撃調査・分析	マルウェア解析	2年	100%
サイバーセキュリティ	担当			
専門職				,
)項目にも入	力

【資格情報入力】※現在取得している資格を入力ください。

⑩資格情報の「選択してください」を選択します。

(ICS)2

ISACA

SAAJ

PMP

- ⑪現在取得している資格のチェックボックスにチェックを入れます。
- ②画面の入力情報を確認し、「この内容で決定する」を選択します。

業務経験・資格情報・講義等受講/イベント等活動



【講義・研修等受講歴、イベント参加・学内活動等入力】

※大学などの講義受講経験やイベント等参加や学内活動など経験してきた項目を入力ください。

- ⑬講義・研修等受講歴、イベント参加・学内活動等、その他の「選択してください」を選択します。
- 倒これまで受講や参加をしてきた項目のチェックボックスにチェックを入れます。
- ⑤画面の入力情報を確認し、「この内容で決定する」を選択します。
- ⑮入力した業務経験・資格情報を確認し、「次へ」を選択すると、診断結果が表示されます。
 - ※「戻る」を選択すると、基本情報入力画面に戻ります。

業務経験・資格情報・講義等受講/イベント等活動



講義・研修等受講歴、イベント参加・学内活動等、経験したものを選択





業務経験・資格情報・講義等受講/イベント等活動

業務経験 経験業務の年数とセキュリティに関係していた比率を入力してください

選択してください	>
アプリケーションシステム(アプリ系) 設計 5年 50% 🍿	
アプリケーションシステム(アプリ系) 開発 5年 50% 🖣除	
データベースシステム 設計 5年 50% 麻	
データベースシステム 開発 5年 50% mgsk	
コンサルティング IT系 3年 100% MMR	
業界団体活動 IT系 3年 100% mmc	

資格情報



講義・研修等受講歴、イベント参加・学内活動等、その他





1.2 比較対象業務

自分の診断結果と比較したい業務や職務を選択してレーダーチャートに表示できます。デフォルトとして JTAG 財団が参考として設定した業務や職務、役割の代表例 152 種類があります。また、企業管理者 が自社の業務や職務に対して設定していれば、そこからも選択ができます。

- ①診断結果画面「スキルチャート」の左側「比較対象業務」で、比較したい業務を選択します。
- ②オレンジ色のレーダーチャートが表示されます。
- ③レーダーチャート右側の枠「適合度」にマッチ度が出力されます。



項目	説明
マッチ度	比較対象業務で選択した業務を遂行するために特に重要なスキルで
重要項目のみ	あると定義した指標(=重要評価ポイント ^{※1})に対する適合度
マッチ度	比較対象業務で選択した業務の大項目「領域・分野」23 種類のす
重要項目+非重要	べての指標に対する適合度

※1 重要評価ポイントとは、その業務を遂行するために特に重要であるスキルを定義してます。JTAG 財団が定義したサンプルプロファイルはあくまで汎用的、一般的に理想と思われる設定となっています。よって、同じ業務や職務名でも企業や団体によって重要度やレベル感は異なるものなので、その点は使用に際して適宜読み替えてください。また、企業会員については、自社の業務や職務に対してのスコア設定ができますので、精度の高い比較をする場合には企業管理者にお問い合わせください。

1.3 おすすめの研修コースの自動提示

本人の診断結果に対して、さらに力を伸ばすことができる可能性が高い研修コース (教育事業者の登録) が自動掲示される機能です。登録研修コースについては随時追加されていきます。

*研修コース登録において設定された"受講するための前提スキルレベル"に、本人の診断結果が満たない場合は、その研修は"おすすめ"として表示されません。



業務経験・資格情報・講義等受講/イベント等活動で入力した診断結果の情報を元に、レーダーチャートの下におすすめの研修コースが表示されます。

【受講シミュレーション】

おすすめの研修を受講した場合に期待されるスキルレベルが反映されたシミュレーションができます。



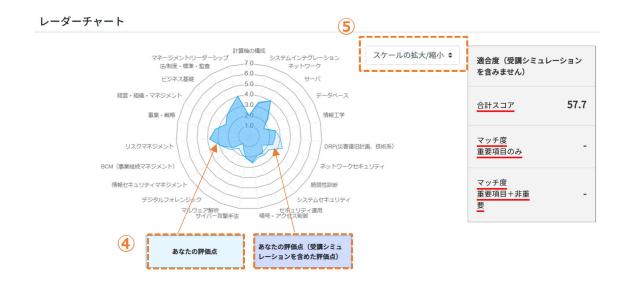
①受講シミュレーションの「選択してください」を選択します。





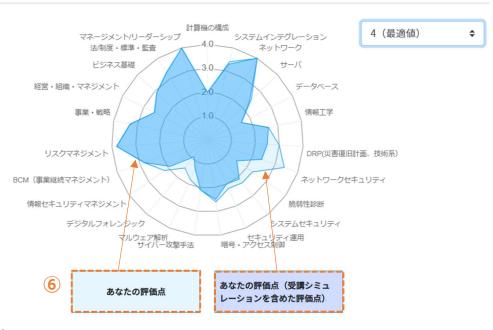
- ②おすすめの研修コースが表示されるので、受講したい研修のチェックボックスにチェックを入れます。
- ③画面の入力情報を確認し、「この内容で決定する」を選択します。



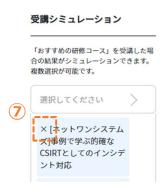


- ④「自身の診断結果」は<u>濃い水色のレーダーチャート</u>、「受講シミュレーションを含めた診断結果」は<u>薄い</u> 水色のレーダーチャートで表示されます。
- ⑤診断結果の数値が全体に低く見えずらい場合、「スケールの拡大/縮小」で変更できます。 (グラフの最大値変更ができます) おすすめは(最適値)です。※診断結果によって最適値が異なります。

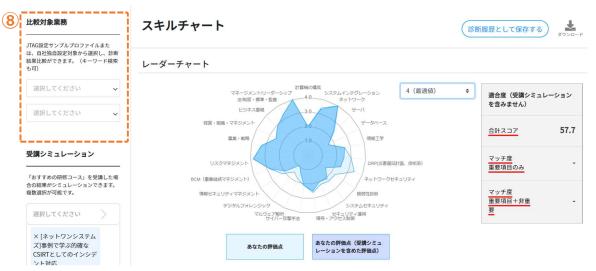
レーダーチャート



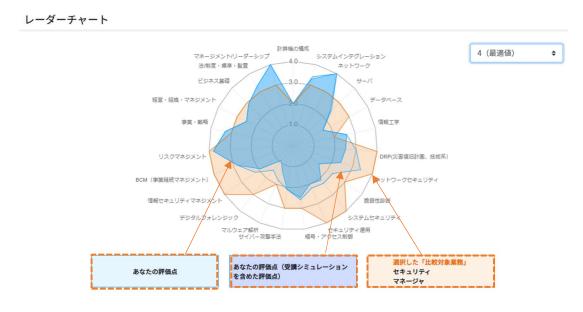
⑥診断結果が見えやすくなりました。



⑦選択したおすすめの研修コースを削除したい場合は左上のメを選択すると、削除できます。



⑧比較したい比較対象業務を選択すると、「自身の診断結果」「受講シミュレーションを含めた診断結果」「比較対象業務」の3つのレーダーチャートを同時に表示ができます。



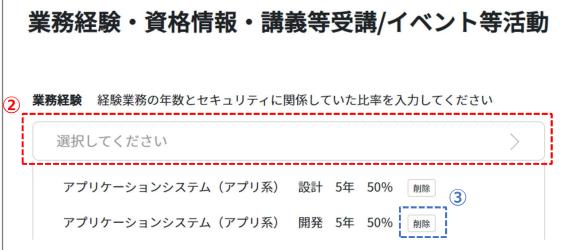
2. 入力内容・診断結果の修正

2.1 業務経験・資格情報・講義等受講/イベント等活動の修正

入力した業務経験・資格情報・講義等受講/イベント等活動の修正および出力された点数の修正をすることができます。

- ①診断結果画面右上の「業務経験・資格情報を修正する」を選択します。
- ②【追加する場合】「選択してください」を押下し、情報を入力し、「この内容で決定する」を選択します。
- ③【削除する場合】業務経験、資格情報それぞれの右側に表示されている「削除」を選択します。
- ④「次へ」を選択し、完了です。







2.2 診断結果の自己による修正

- ①診断結果画面右上の「総合評価 details」を選択します。
- ②「自己評価による加減点数」の「点数」欄に数字を入力します。
 - ※加減点数の上限は、評価点が7を超えない、0未満にならないように設定されています。
 - ※点数の考え方については、JTAG の HP をご覧ください。

https://www.j-tag.or.jp/score

- この内容で決定する ③「自己評価による加減点数」の「コメント」欄に必要であれば、コメントを入 力します。
- ④「自己評価を保存する」を選択します。
- ⑤診断結果画面右上の「スキルチャート」を選択し、点数が反映されていることを確認します。



3. 診断結果の保存

3.1 診断結果の保存手順

- ①診断結果画面右上の「診断履歴として保存する」を選択します。
- ②必要であれば保存用コメントを入力し、「診断履歴として保存する」を選択します。



キャンセル

6.0.

ビジネス基礎

診断履歴として保存する

4. 診断履歴の確認

4.1 診断履歴の確認手順

- ①トップページの右上にある人のアイコンを選択し、「マイページ」を選択します。
- ②マイページ右上の「診断履歴」を選択します。
- ③「○○さんの診断履歴」の一覧から確認したい診断履歴を選択します。



5. 診断履歴にある結果の編集

5.1 診断履歴にある結果の編集手順

- ①診断履歴より、編集したい保存済みの結果を選択します。
- ②スキルチャート画面が表示されます。
- ③「診断情報をコピーする」を選択します。
- ④診断履歴画面に移ります。コピーした診断結果は、一覧の一番下にありますので、選択します。
- ⑤編集ができます。(手順は、本ガイド「2-2. 診断結果の修正」をご覧ください。) 田中 太郎さんの診断履歴



6. 診断結果のダウンロード

6.1 スキルチャートを PDF でダウンロード

スキルチャート画面の右上「ダウンロード」を選択すると、PDFで保存することができます。

※印刷画面の送信先を「プリンター→PDF」に変更して保存してください。



6.2 総合評価 details を PDF でダウンロード

総合評価 details 画面の右上「PDF ダウンロード」を選択すると、PDF で保存することができます。

※印刷画面の送信先を「プリンター→PDF」に変更して保存してください。



6.3 総合評価 details を CSV でダウンロード

総合評価 details 画面の右上「CSV ダウンロード」を選択すると、CSV ファイルをダウンロードすることができます。

